

ナゴヤ劇場ジャーナル

■発行/マネージメント・プロ ■編集/プランニングオフィス白壁 ■協賛/クラシック名古屋

2012年12月号(毎月5日発行)

第49号

間奏曲

高齢化が進む社会。名古屋の舞踊界でも、20年以上前に中堅として活動していたダンサーの面々が、今もほとんど変わらず「中堅」として頑張っている。9月末、「裸の女たち」なんて過激なタイトルにつられて出かけた「らす・しゃちほこす」なるフラメンコグループの公演。名古屋近辺で活動中の中堅と

若手・中堅しっかりしろ!

こゝろ5人が「スタジオのフラメンコに加え、公演

ころ5人が「スタジオの垣根を越えて、お互いを高めよう」(プログラムから)趣旨で開いた。

名古屋のフラメンコ界は、数人の有名な舞踊手が30年もトップを続けてきた。そこに「しゃちほこ」

のラストで見た「かたむむり」のダンスは、大いにユニークで楽しめた。「らす・しゃちほこす」の今後の活動に期待したい。

ベテラン勢が頑張っているから中堅以下が目立たないのか、中堅以下に元気がないからベテランが目につくのか…。名古屋は舞踊界だけでなく、音楽界も同じような状況だ。「若いやつら、しっかりしろよ!」と私も言いたい。

(上原 宏)